

働き方研究会



事務局 ABC協会 専務理事 山田裕美

研究会活動の概要

各社にてリモートワーク導入されてきております。しかしその多くの場合、コロナ対応として急に切り替えたため、これまでの業務を切り替えただけ、に終わっていないでしょうか？よく言われます様に、「ハンコを押す為に出社しなくてはならない」というのでは、リモートワークに成っていません。そしてまた、これからの日本においては労働人口が急激に減少していきます。その様な中、日本企業の生産性の低さの指摘も多く見られます。

つまり今後の日本の環境に対処していく意味において、そしてリモートワークをしっかりと機能させていく意味において、広い意味で『働き方』を見直していかなくてはなりません。

そこで本研究会では、先進事例を学び、或いは各社状況を題材にしながら、どう働き方改革に取り組み、実行していけば良いのかを検討していきます。そしてご参加の方々の働き方改革の構想化に役立つ研究会となるよう議論を進めてゆきます。



参加対象 企業・公共団体で、リモートワークの設計や業務の効率化について悩んでいらっしゃる方
DX対応など変革に取り組むことを期待されている方
日々の業務の進め方について疑問を感じていらっしゃる方も歓迎

参加費用

・A B C協会の会員企業	22,000円
・会員企業以外	44,000円

開催日程 隔月 全6回 15:00～17:00 (当面はZoom会議にて進める予定です)

研究会は、8月より開催予定です

取り上げるテーマ

通常業務をリモートに切り替えただけでは何が問題となるのか、について確認する
DX対応としてどんな業務遂行と成っていないのか考えてみる
具体的にどの様な対応を取っている事例があるのか、研究する
どの様に対応を進めていくのが良いのか、構想化について議論する